

	歳入決算額		歳出決算額	
	21年度	20年度	21年度	20年度
国民健康保険	85億6,266万円	83億6,719万円	79億8,258万円	79億6,585万円
老人保健医療	5,724万円	8億2,838万円	5,531万円	8億2,808万円
後期高齢者医療	13億8,996万円	12億5,806万円	13億7,007万円	12億4,502万円
介護保険	45億1,929万円	43億4,240万円	44億6,798万円	42億8,704万円
公共下水道事業	36億8,272万円	44億9,770万円	36億2,343万円	44億4,245万円
農業集落排水事業	10億2,212万円	14億8,156万円	10億1,994万円	14億7,710万円
土地取得事業	1,762万円	4億4,729万円	1,735万円	4億4,482万円
野洲川基幹水利施設管理事業	1,503万円	1,506万円	1,502万円	1,504万円
鉄道経営安定対策基金	2,216万円	2,209万円	2,216万円	2,209万円
鉄道施設整備基金	2,182万円	3,153万円	2,181万円	3,153万円
国民健康保険診療所	5億3,823万円	5億1,547万円	5億1,888万円	5億590万円
浄化槽管理事業	1億2,114万円	2億2,294万円	1億1,472万円	2億2,189万円
介護老人保健施設事業	1,137万円	—	1,137万円	—
小計	199億8,136万円	220億2,967万円	192億4,062万円	214億8,681万円
病院事業	9億4,244万円	8億9,010万円	10億5,980万円	10億743万円
水道事業	33億8,359万円	40億3,459万円	42億2,675万円	45億6,661万円
小計	43億2,603万円	49億2,469万円	52億8,655万円	55億7,404万円
合計	243億739万円	269億5,436万円	245億2,717万円	270億6,085万円

※企業会計の予算額は、「収益的収入・支出」と「資本的収入・支出」の合算です。

平成21年度は、前の年から始まった世界的な経済不況の影響を想定し、市民税を中心に確実な歳入を予測し予算を見積もりました。

また、「歳入に見合った歳出」を基本姿勢に歳出も抑制を行うなか、優先すべきは生活重視と財政基盤強化として、福祉や教育など市民生活に密着するものはできる限り縮減幅を抑え、財政面でも返す額以上の借り入れは行わないことを基本に、市債の繰上償還も積極的に行いました。

職員数削減や管理職手当及び特別職の給与一部カットに加え、機構再編による組織のスリム化など内部の無駄にメスを入れながら、補助金をはじめとする各施策に対しても重要度や優先度を考慮しました。執行面では、安易な予算執行を禁じ、執行残



甲賀市長 中嶋武嗣

将来に向けた逞しいまちづくりのために 「財政強化の取り組みにより状況を改善」

額を財源として活かすことの徹底を図り、原資である市民皆様からの貴重な税で最も効果が現れる市政の運営に努力いたしました。

その結果、平成21年度決算では、各財政指標を改善することができ、最悪の状況からは脱することができました。

しかし国や県が直面する財政危機を回避するため、これまでの制度を大きく見直し、市民に近い基礎自治体である市に新たな負担が生じることも考えられます。さらに、湖南市との事務組合で共同運営します公立甲賀病院の建設やし尿処理施設の更新をはじめ、当市にとって重要な幼児から高齢者までの福祉施策など、行政に与えられた課題は多くあります。これらに答えながら財政基盤を強化して行くことは簡単なことではありませんが、引き続き、簡素で小回りの利く組織に向けて、職員定数の適正化、行政コストの削減に努めながら、将来に向けて逞しいまちづくりを行ってまいります。

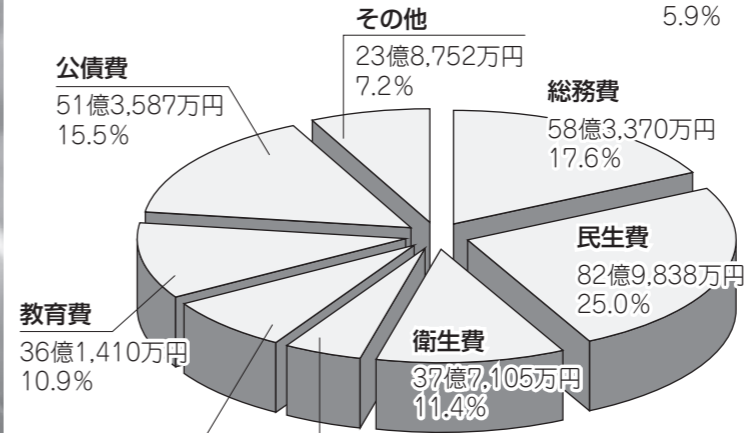
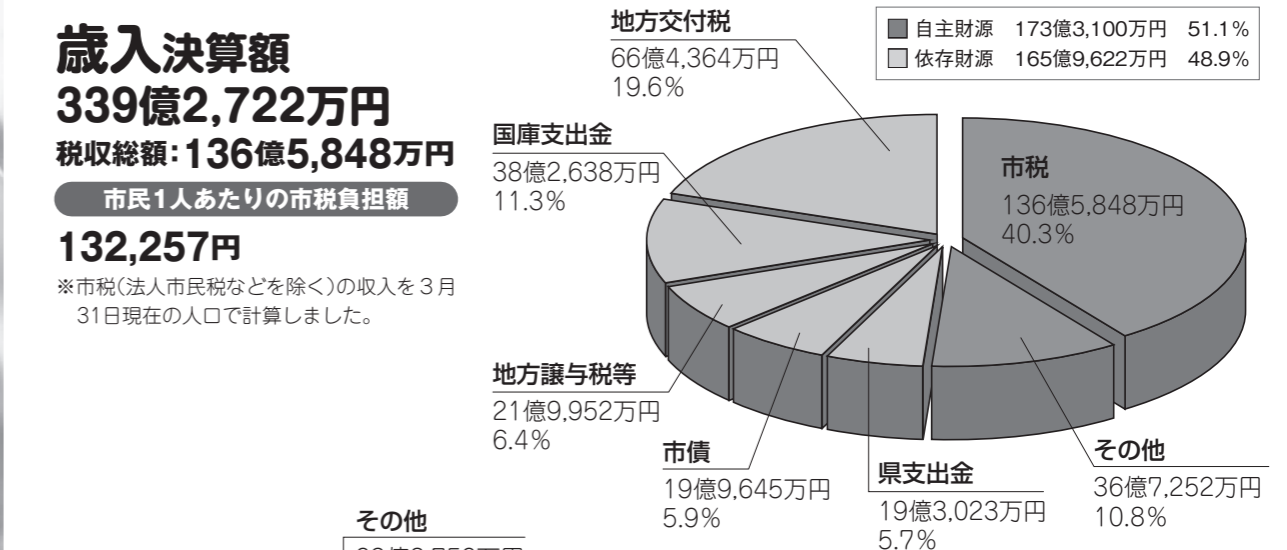
平成21年度

甲賀市決算

平成21年度の甲賀市の決算をお知らせします。依然として厳しい財政状況が続くなか、「人 自然 輝き」つづける「あい甲賀」の実現のため、生活重視と財政強化を最優先とした事業に取り組みました。

歳入決算額 **339億2,722万円**
 税込総額: **136億5,848万円**
 市民1人あたりの市税負担額 **132,257円**

※市税(法人市民税などを除く)の収入を3月31日現在の人口で計算しました。



※その他は、議会費、労働費、消防費、災害復旧費など

歳出決算額 **331億2,712万円**
 市民1人あたりに支出したお金

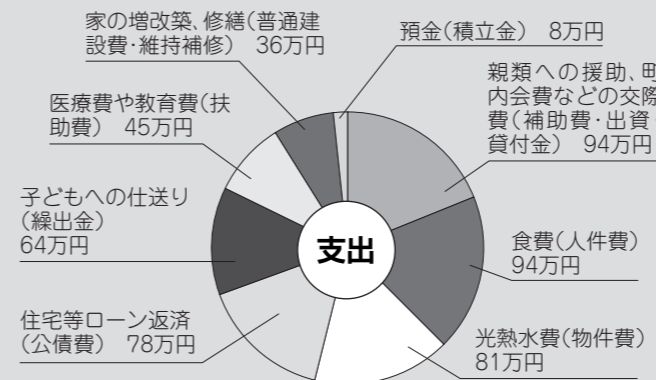
合計 **348,901円**

福祉や国民健康保険などの民生費が一番多くなっています。

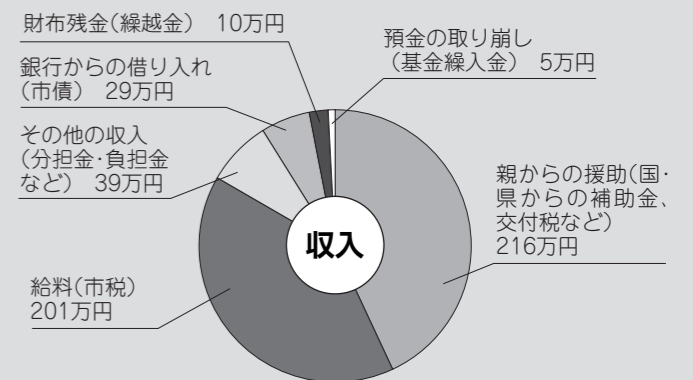
項目	内容	金額
総務費	自治振興や交通、企画・立案や内部管理に	61,442円
民生費	高齢者や子ども、障害者の福祉に	87,400円
衛生費	健康で衛生的な生活環境の推進に	39,717円
農林水産業費	農業や林業の振興に	15,647円
土木費	道路や公園などの公共施設の整備に	27,393円
教育費	学校教育の充実、文化・スポーツの振興に	38,064円
公債費	市が借りたお金の返済に	54,092円
その他	消防、商業の振興、議会の運営経費など	25,146円

※市民1人あたりの各支出を3月31日現在の人口で計算しました。

年間収支が500万円の家計に置き換えてみると



医療費、教育費、仕送りなど、減らせない経費が多くあります。食費や親類への援助を切り詰め、家の改築を取り止めながらやりくりしています。最近、銀行からの新規借金を少なくし、ローンを前倒して返済してきたおかげでローン残高が減少できました。



給料と親からの援助だけではまかないきれず、銀行からお金を借り、預金も降ろしてやりくりしています。親からの援助は不安定でこの先が心配です。